

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	動物園管理運営事業	会計	一般会計	事業No.	592	施策順No.	46-009
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-4-6-10-1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	46 活気ある街づくりの推進			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	市民数:人	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	運営する。不都合なく利用でき、かつ町ににぎわいをもたらす							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		利用者数:人	67850	69060	69964	70100	68472	60000	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		委託業者や指定管理者の取組により年々来園者数が増えているが、22年度は猛暑のため目標数値を下回った。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	動物園の維持管理、運営を委託している。平成22年度からは指定管理者へ移行した。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 指定管理料 2 園内施設改修工事 3 沈殿槽汚泥引抜 4 備品購入(冷蔵庫)	1 指定管理料 2 改修工事費 3 業務委託 4 備品購入	1 1式 2 1式 3 1式 4 1式
	平成22年度より指定管理者制度に移行した。		
23年度実施計画	1 指定管理料 2 園内施設改修工事 3 備品購入(ポニー、テント)	1 指定管理料 2 改修工事費 3 備品購入	1 1式 2 1式 3 1式

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項	(そ)野生傷病鳥獣救護事業委託金
	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他	114	114				
一般財源	46,134	46,066	45,251				
計(A)	46,248	46,180	45,251				
正規職員所要時間		500					
臨時職員等所要時間							
人件費計(B)		1,788					
トータルコスト A+B		47,968					

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> 市民のアンケート結果からは、職員の対応、清掃状況等、全体的に良い結果を得られている。 指定管理者の選定にあたり一部の議員から、指定管理の手続きと選定理由が不明瞭であるとの意見があった。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	中心市街地に人や物が集まり活気がある状態を目指す	施策の成果指標又はムトス指標	まちなかの6スポットの1日あたりの延べ歩行者数
この事務事業は施策の目的達成にどのような貢献しましたか	4年間の振り返り	委託から指定管理に移行することで動物園の経営意欲が増し、活力ある街づくりの推進に寄与した。		
	後期に向けた課題	平成23年度からの動物園改修工事により、活力ある動物園となる。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	指定管理者が毎月いろいろなイベントを実施し、来園者増に努めた。		
	後期に向けた課題	平成23年度からの動物園改修工事により、来園者数増が期待できる。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	受託者の努力による。		
	後期に向けた課題	受託者の努力による。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	不特定多数の利用のため負担は求めない。特定の遊具は利用者個人の負担が必要である。		
	後期に向けた課題	動物園改修後も利用者負担は求めない。特定の遊具は利用者個人の負担が必要である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	管理運営を受託しているNPO法人伊那谷環境文化ネットワークが、動物、獣舎、管理棟、遊具等の施設管理や運営を行っている。行政は施設の改修や備品購入等を行い、より市民や利用者のニーズに対応した魅力ある施設を目指し指定管理者制度導入に向けて働きかけた。		
	後期に向けた課題	動物園を基点とした活力ある街づくりの推進のために指定管理者と協力していく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	指定管理に移行することで動物園の経営意欲が増した。また、集客力を上げるためさまざまなイベントを実施した。		
	後期に向けた課題	今後、動物園改修工事による来園者数増が期待できる。歩行者天国における出張ミニ動物園や動物園内を利用した人形劇とのイベント等を実施したい。 指定管理者の管理状況を検証し改善を検討する。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------